

被爆70年 桜隊原爆忌

原爆殉難者追悼会



丸山定夫



園井恵子



島木つや子



高山象三



笠 綱子



小室喜代



羽原京子



森下彰子



仲みどり

移動演劇「桜隊」を知っていますか？

1945年8月6日、移動演劇桜隊は広島で被爆しました。

爆心地から750mの地点。5人は即死。

4人は放射能によって、もがき苦しみながら亡くなりました。

なぜ、彼らは広島にいたのでしょうか？

……… 知ることから始まります。

1941年6月9日、内閣情報局により「日本移動演劇連盟」が結成された。そして半年後の12月8日、日本は真珠湾攻撃を決行し、太平洋戦争へと突入した。

すべての演劇人は大政翼賛会の管理下におかれ、表現の自由は完全に奪われた。そんな中、1942年、劇団「苦楽座」が創立。地方への慰問巡演活動が始まった。演劇人としての“矜持”を失うことなく活動を続けた彼らの原動力はどこにあったのか。当時の体制と社会情勢、演劇環境をひもとく、現代の視点から移動演劇を考える。

2015年 8月 6日(木) 午前10:30～ 碑前祭 12:00～ 追悼会

追悼会の主な内容

◎朗読構成 桜隊の見上げた空

—1945年8月6日広島—

演出／神山 寛

1942年、「苦楽座」として創立された当時から、「移動演劇桜隊」と名を変えて広島に赴任し、被爆死までの9名の悲喜こもごもの想いを追う。8月6日をどのように迎えたのか？ 被爆70年にあたり、2005年(被爆60年)に故北村和夫さん(文学座)と故南風洋子さん(民藝)に出演していただいた記念公演の再演。

出演／有馬理恵 落合佑介 佐藤哲也

白井真木 渡辺 聡(五十音順) 音楽／堀ゆかり

◎桜隊原爆忌の会の誕生までとその歴史 —70年をふりかえる—

そもそもは1945年9月17日、築地本願寺での「桜隊合同葬」が端緒である。弁士、漫談家、作家、俳優として活躍した元祖マルチタレントとも言える徳川夢声が開催にこぎつけたものだ。夢声は「苦楽座」(桜隊の前身)創立同人であり、公演活動を共にし起居をも共にした同人たちの原爆死を悼んだ。そして「さくら隊殉難碑建立事務所」を起ち上げ、東奔西走の結果、現在地の建立に至った。その後の慰霊会から原爆忌の会の提唱・設立、そして現在までの70年間の流れを俯瞰する。

会 場：目黒 五百羅漢寺
☎03-3792-6751

参加費：3,000円(献花料・記念写真・昼食代含)
高校生以下1,000円

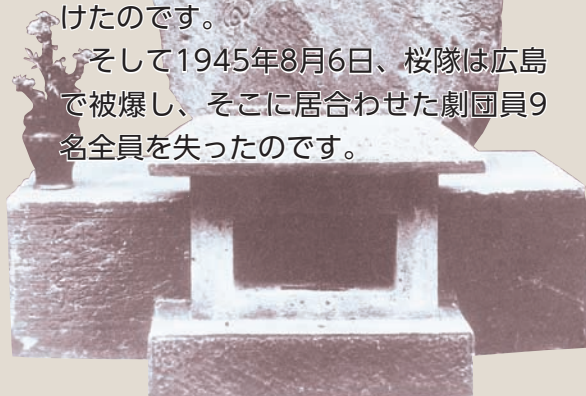
※お問い合わせ・お申し込みは、桜隊原爆忌の会世話事務局まで(裏面参照) ☎03-3667-1890 FAX03-3667-1891

そのとき桜隊は……

戦争のさなか、戦況の悪化とともに、劇団は壊滅状態にありました。国の方針に沿わない劇団は、強制的に解散させられ、100名以上が検挙されました。芝居を続けるには、移動演劇連盟に加盟するしかありませんでした。

1944年に入ると、連盟に加盟している劇団は、地方への疎開を強いられます。その疎開地を拠点として、全国の工場、学校、軍へと慰問の公演を続けたのです。

そして1945年8月6日、桜隊は広島で被爆し、そこに居合わせた劇団員9名全員を失ったのです。



桜隊原爆忌のあゆみ

1945年9月17日 築地本願寺にて移動演劇連盟や演劇界、映画界と一般などによる合同慰霊祭が営まれ、碑建立の話が出る。小山内薫碑のある多摩墓地や友田恭介の墓所九品仏、築地本願寺などが候補に挙がり、建立費も募集されたが、旧円封鎖やインフレなどにより立ち消えとなる。

1952年9月 9人の遺骨を預かる徳川夢声が羅漢寺に相談。住職の尼僧が同意、寺にある大きな石と台石に將軍吉宗の腰掛け石が提供された。碑銘「移動劇団さくら隊原爆殉難碑」は徳川夢声が書き、背面には柳原白蓮の短歌「原爆のみたまに誓ふ人の世に浄土をたてむみそなはしてよ」が刻まれた。

1952年12月8日 除幕式。遺族、演劇人、一般など多数参列。平和の鐘が鳴り、尼僧20余人読経の中で除幕。9人の分骨が納められた。

1953年8月6日 碑の法要。夢声渡米中のため、白蓮が主催。安井誠一郎東京都知事に参列者およそ200名が焼香した。

1975年8月 鎌倉にできた丸山定夫碑前に参集した16人が準備会世話人となり、「桜隊原爆忌提唱」の文を作り、入会募集を始める。

1975年9月 「丸山定夫・園井恵子原爆散華三十年」白炎忌（紀伊国屋ホール）

1975年10月19日 ◆桜隊原爆忌◆これをもって第1回とする（参加者52名）
ここで桜隊原爆忌を毎年8月第3日曜日に決める。

1977年の三十三回忌には、参加者は80余名。（81年以降、8月6日に定着）

1985年頃から、参加者は100名を越すようになる。

1988年 新藤兼人監督映画『さくら隊散る』完成。この頃、参加者百数十名。

1993年 広島以外で亡くなった園井恵子、高山象三、仲みどりの3人の名が原爆慰霊碑の名簿に書き加えられ、9人全員が原爆の地広島に揃う。

2006年 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館に9名全員を登録。

【桜隊原爆忌の会歴代会長】

藤原釜足・佐々木孝丸・小沢榮太郎・滝沢修・浜村純・中村美代子

桜隊原爆殉難者追悼会

《プログラム》

2015年 8月 6日（木） 午前10時30分～午後3時

午前10時30分～ 碑前祭、記念撮影

11時15分～ 歓談、食事

12時00分～ 追悼会

◎開会 総合司会／浦吉ゆか（桜隊原爆忌の会世話人）

◎挨拶 桜隊原爆忌の会会長 神山 寛

◎ご遺族・関係者紹介

◎朗読構成 桜隊の見上げた空 —1945年8月6日広島—

出演／有馬理恵（劇団俳優座） 落合佑介（テアトルエコー放送映画部）

佐藤哲也（劇団文化座） 白井真木（プロダクションタンク）

渡辺 聡（劇団俳優座） 音楽／堀ゆかり

◎桜隊原爆忌の会の誕生までとその歴史

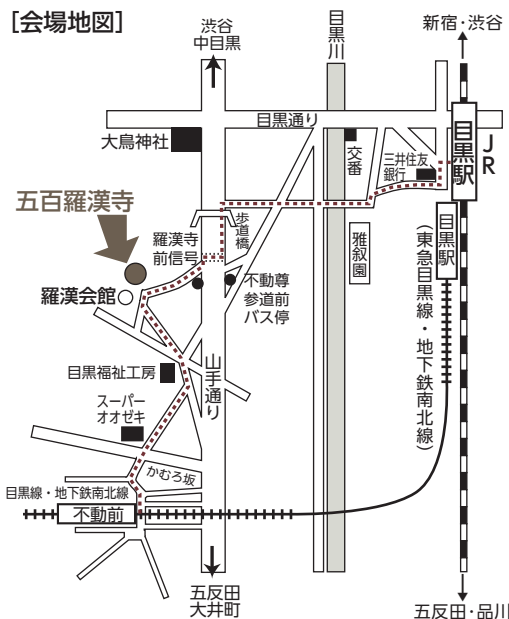
—70年をふりかえる—

●参加費 3,000円 高校生以下1,000円（献花料・記念写真・昼食代含）

●会 場 桜隊菩提寺 目黒 五百羅漢寺

東京都目黒区下目黒 3-20-11 ☎03-3792-6751

【会場地図】



*五百羅漢寺へは、①JR目黒駅から徒歩15分。

②目黒線・地下鉄南北線「不動前」から徒歩約10分。

③目黒駅、中目黒駅からはタクシーで1区間。

④東急バス「渋41」渋谷↔大井町（中目黒経由）渋谷駅からは南口ロータリー33番乗り場。「不動尊参道前」下車1分。

主催：桜隊原爆忌の会

※お問い合わせ・お申し込みは、桜隊原爆忌の会世話人事務局 ☎103-0016 東京都中央区日本橋小網町18-16-701

☎03-3667-1890 FAX03-3667-1891 URL: <http://www.photo-make.jp/sakura.html> E-mail: sakuratai01@yahoo.co.jp

◆会場準備の都合上、必ずお申し込みのうえご参加下さい。当日ですと入場できない場合があります。事務局不在の場合のため、ファックスが確実です。

◆上記ホームページから、あるいはメールアドレス宛にお申し込みいただけます。いずれの場合も、ご氏名、ご住所、お電話番号を必ずお知らせ下さい。